

ニホンテン *Martes melampus* (Wagner)

【選定理由】

ニホンテンは国内の主要な島々と朝鮮半島南部にのみ生息するが、現在の県内での分布は三河地域の山間部に限られ、知多半島・渥美半島および平野部では絶滅したと考えられる。三河地域での分布は比較的広いが、森林域の縮小や生息環境の悪化にともない個体数が減少する可能性がある。

【形態】

頭胴長 410~490mm、尾長 170~233mm、後足長 75~98mm、耳介長 31.5~45.0mm、頭骨最大長 78.9~91.8mm。尾率は 40%以上となるのが普通。性的二型があり、雄は雌より大きい。毛色はあざやかな黄色から褐色のもので変異に富み、黄色のものはキテン、褐色のものはスステンと一般に呼ばれている。頭蓋では比較的吻が長く幅が狭い。雄では脳頭蓋の正中部に明らかな矢状稜が認められるが、雌では稜線にならない。歯式は I3/3, C1/1, P4/4, M1/2=38 (子安・織田, 2009 など)。

【分布の概要】

【県内の分布】

春日井市 (春日井市, 2010)、名古屋市 (守山区東谷山:野呂, 2015 による推定)、瀬戸市、尾張旭市、豊田市、岡崎市、幸田町、設楽町、豊根村、東栄町、新城市、豊川市、田原市 (宮尾ほか, 1984; 大羽, 2005; 子安・織田, 2009; 子安ほか, 2016; 子安, 2018)。

【国内の分布】

北海道南部 (導入)、本州、四国、九州、佐渡島 (導入)、淡路島、対馬に分布 (子安・織田, 2009; Masuda, 2015)。

【世界の分布】

日本固有種 (Masuda, 2015)。

【生息地の環境／生態的特性】

森林に生息し、木登りが得意で、通常は樹洞に営巣するが、人家の天井などを利用することもある (阿部, 2000)。食物はネズミなどの小哺乳類、鳥類、両生類、爬虫類、昆虫類、果実類などである。特に秋にはサルナシやアケビなどの漿果を大量に食べる。

【現在の生息状況／減少の要因】

県内でテンの生息が確実なのは三河地域を中心とする 10 市町村であり、知多半島には確かな記録がない。先史時代の遺存骨が 八王子貝塚 (西尾市上町八王子)・枯木宮貝塚 (西尾市巨海町枯木) と伊川津貝塚 (田原市渥美地域) で出土し、江戸時代には尾張地域平野部と知多半島でも生息していたので (宮尾, 1985; 子安・織田, 2009) 現在での分布の縮小は著しいものがある。生息数の減少は森林の縮小と生活環境の悪化が考えられる。

【保全上の留意点】

テンは森林性であり、森の中を主要な生活の場としているが、登山道、遊歩道、林道なども日常的に利用している。したがってテンの生息地域では、移動や採食を可能とする植生が失われないように留意し、潜在植生の回復や食物となる小哺乳類を含む生物群集全体を保全しなくてはならない。

【特記事項】

スステンの分布は局限され、紀伊半島南部と四国が主で、これらの地域では 9 割を占めるが、他の地域ではほとんど見られないという (渡辺, 1999)。1737 年に成立したとみられる『尾陽産物志』には、愛知郡、海東郡、知多郡にテンが生息していたことが示されている (宮尾, 1985)。日本哺乳類学会では普通種とされている (佐々木, 1997)。

【引用文献】

- 阿部 永, 2000. 日本産哺乳類頭骨図説, 279pp. 北海道大学図書刊行会, 札幌.
春日井市, 2010. 平成 20・21 年度自然環境保全地区等候補地二次調査報告 (概要版), 8 pp. 春日井市, 愛知県春日井市.
子安和弘, 2018. 人家から奥山まで生息する哺乳類. 新修豊田市史 別編自然, pp.586-603. 豊田市, 豊田.
子安和弘・織田統一, 2009. テン. レッドデータブックあいち 2009 動物編, p.87. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.
子安和弘・岡田慶範・小島登美・吉村文孝, 2016. 哺乳類. 豊田市生物調査報告書<分冊その 3>, pp.337-367. 豊田市, 豊田.
Masuda, R. 2015. *Martes melampus* (Wagner, 1840). The Wild Mammals of Japan, 2nd ed., pp.258-259. Shoukadoh Book Sellers, Kyoto.
宮尾謙雄, 1985. 哺乳類. 西春町史資料編 2, pp.221-259. 西春町史編集委員会, 愛知県西春町.
宮尾謙雄・花村 肇・高田靖司・酒井英一, 1984. 哺乳類. 愛知の動物, pp.286-235. 愛知県郷土資料刊行会, 名古屋.
野呂達哉, 2015. ニホンテン. レッドデータブックあいち 2015 動物編, p.41. 名古屋市環境局環境企画部, 名古屋.
大羽康利, 2005. 渥美半島「越戸 (おっと) 大山ヘリコプター離着陸訓練場」問題について. しろちどり, (46): 20-21.
佐々木 浩, 1997. イタチ科 Mustelidae. レッドデータ日本の哺乳類, pp.100-107. 文一総合出版, 東京.
渡辺茂樹, 1999. ニホンテン. 石川県の哺乳類, pp.63-64. 石川県環境安全部自然保護課, 金沢.

(子安和弘・織田統一)

